

村上地区地域まちづくり協議会設置に向けての意見

平成 23 年 2 月 9 日

村上地区地域審議会

平成 22 年度の村上地区地域審議会では、平成 23 年度から着手する「市民協働のまちづくり」について市から説明を受け、当地区における協議会のあり方について審議し、次のとおり意見を集約した。

なお、合併して村上市は一つになったということを十分に踏まえた上で、それぞれの協議会で活動していただきたい。

1 地域まちづくり協議会設置に係る区域設定について

事務局から「村上」、「岩船」、「瀬波」、「山辺里」、「上海府」の 5 地区に分けてはどうかとの提案を受けて審議を行い、5 つの地区が妥当であると判断する。

ただし、「村上」については、人口規模も大きく、多種多様な地域活動が存在することから、事業内容ごとに部会を設けるなどの対応を検討するべきである。

2 地域まちづくり協議会への財政支援の基本的考え方について

人口、世帯数、行政区数を基本とし、地理的条件も勘案した上で財政支援を行うこと。また、できるだけ自由に使える交付金としての支援を計画している旨説明を受け、異論は無いが、優良な事業に対して手厚く支援する考え方についても検討する必要がある。

3 その他

設立したそれぞれの協議会で必要なことが行えるような組織となることが望ましい。そのためにも、協働のまちづくりの全体像や歩き始めるために必要なものについて理解を得るため、ステップを踏んで進めていくことが重要であるとともに、市民への周知を一層強める必要がある。

また、従来からそれぞれの地域で行われてきた活動も大事にしていくような組織としてもらいたい。